

オーガニックビレッジ

有機農業拠点創出・拡大加速化事業



2050年有機100万haの実現に向けて

令和7年10月

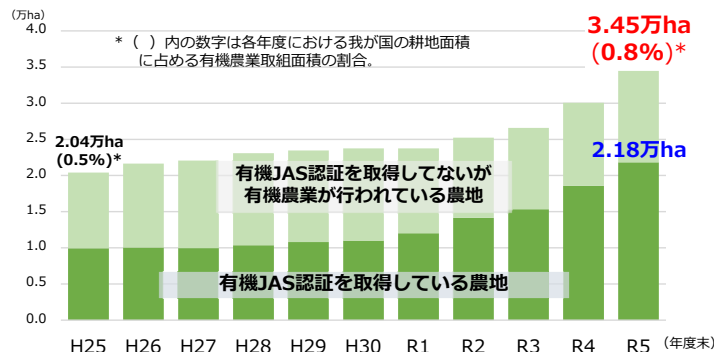
MAFF
農林水産省

2050年有機100万haの実現に向けて

令和3年5月、農林水産省では、食料、農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定し、2050年までに耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%(100万ha)に拡大することを目標としています。

令和5年度末には、前年度から4,400ha 増加（対前年度比15%増）し、3.45万ha（耕地面積の0.8%）に拡大しました。

有機農業取組面積



※ 有機JAS認証を取得しているほ場面積は「国内における有機JASほ場の面積」から引用。有機JASを取得していない農地面積は、農業環境対策による推計（注：H25、26年は、「平成22年度有機農業基礎データ作成事業」（MOA自然農法文化事業団）の調査結果からの推計又は都道府県からの聞き取りにより推計、H27年度以降は、都道府県からの聞き取りにより推計し、農業環境対策に取組みと。）

※ 令和3年度末までの有機JAS認証を取得している農地は、翌年度4月1日時点の数値を集計しているため、本グラフにおいては前年度末（3月31日）時点のデータとして記載。（例：令和3年度末（令和4年3月31日）の有機JAS認証を取得している農地の数値は「国内における有機JASほ場の面積（令和4年4月1日現在）」から引用）

オーガニックビレッジとは

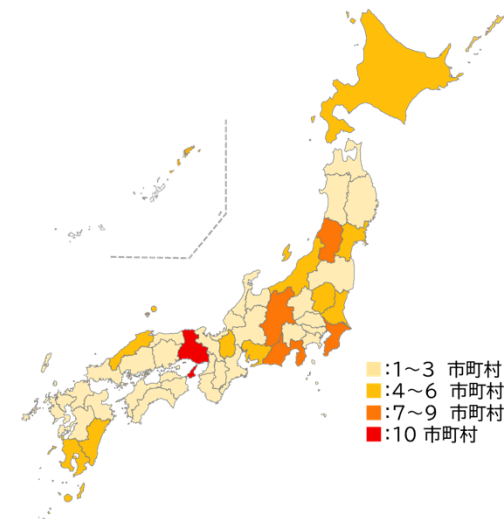
「オーガニックビレッジ」とは、有機農業の拡大に向けて、ほ場の団地化などの生産から学校給食での利用など消費まで一貫した取組を、農業者、事業者、地域内外の住民などの関係者が参画の下、地域ぐるみで進める市町村のことです。

農林水産省では、令和3年度補正予算から、オーガニックビレッジの創出に向けて、みどりの食料システム戦略推進総合対策（有機農業拠点創出・拡大加速化事業）により支援を行っています。

このような有機農業の拠点を全国に創出し、横展開を図っていくこととしています。



オーガニックビレッジ取組地区、 150市町村まで 拡大しています！



北海道

北海道 安平町・旭川市・新十津川町・赤井川村
浦幌町

東北

青森県 黒石市・五戸町
岩手県 花巻市・一関市・遠野市
宮城県 登米市・栗原市・大崎市・加美町
秋田県 大湯村
山形県 米沢市・鶴岡市・新庄市・川西町・山形市
酒田市・高島町
福島県 二本松市・喜多方市・会津若松市

北陸

新潟県 佐渡市・新発田市・五泉市・阿賀野市
津南町
富山県 南砺市・富山市
石川県 珠洲市・羽咋市・白山市
福井県 越前市

東海

岐阜県 白川町・飛騨市
愛知県 東郷町・南知多町・岡崎市・大府市
美浜町・武豊町
三重県 尾鷲市・名張市・伊賀市

近畿

滋賀県 甲賀市・近江八幡市・日野町・東近江市
京都府 亀岡市・京丹後市
大阪府 堺市・泉大津市
兵庫県 豊岡市・丹波篠山市・養父市・丹波市
淡路市・神戸市・朝来市・加東市・上郡町
稲美町
奈良県 宇陀市・天理市・山添村
和歌山県 かつらぎ町

中国・四国

鳥取県 日南町・八頭町
島根県 浜田市・大田市・邑南町・吉賀町・江津市
岡山県 和気町・新庄村
広島県 神石高原町
山口県 長門市
徳島県 小松島市・海陽町
香川県 三豊市
愛媛県 今治市
高知県 馬路村

関東甲信・静岡

茨城県 常陸大宮市・石岡市・笠間市
かすみがうら市
栃木県 小山市・市貝町・塩谷町・栃木市・大田原市
群馬県 甘楽町・高山村・みなかみ町
埼玉県 小川町・所沢市・さいたま市
千葉県 木更津市・佐倉市・神崎町・成田市
いすみ市・多古町・匝瑳市
東京都 台東区
神奈川県 相模原市・小田原市
山梨県 北杜市
長野県 辰野町・松川町・飯田市・飯綱町・伊那市
佐久市・長和町
静岡県 掛川市・藤枝市・川根本町・静岡市
富士宮市・島田市・伊豆の国市・小山町

九州

福岡県 うきは市・篠栗町
佐賀県 上峰町・みやき町
長崎県 南島原市・雲仙市・五島市
熊本県 南阿蘇村・山都町・菊池市
大分県 佐伯市・臼杵市・豊後高田市
宮崎県 綾町・高鍋町・木城町・えびの市・宮崎市
高千穂町
鹿児島県 南さつま市・湧水町・南種子町・徳之島町
姶良市

令和7年度までの取組地域の事例をご紹介します！

2022年度から開始 2023年度から開始 2024年度から開始 2025年度から開始 ※ 記載内容は計画段階の取組を含む

1 北海道安平町 面積 給食・加工
販路拡大に向けた加工品の開発！
 学校給食には新たに有機稲作を始めた方の有機米を提供するほか、有機パックご飯の商品開発を行い、新たな販路開拓に取り組む。

3 茨城県常陸大宮市 面積 給食・加工
ほ場の団地化による効率的な生産！
 特定区域の設定地区で、有機水稲・野菜の大規模なほ場団地化を進めるとともに、有機野菜・米粉を使用した加工品や学校給食に導入する米粉パンの開発などに取り組む。

5 群馬県甘楽町 給食・加工 人材育成
甘楽町有機農業サポーターの取組！
 学校給食の利用拡大の他、新規就農者への研修体制や繁忙期の労働力の確保などのサポート体制を構築するとともに、地域内の遊休農地を活用した有機オリーブ等の生産拡大に取り組む。

7 長野県松川町 給食・加工
有機農業を通じた農地の継承！
 遊休農地を活用し生産した有機米や有機野菜の給食での利用拡大、有機の土づくりによるりんごやなしの試験栽培等を行い次世代への農地継承に取り組む。

9 新潟県新発田市 スマート
世界に向けてオーガニックを発信！
 有機米の産地形成、付加価値の高い特産品・加工品づくり、海外販路拡大による輸出の促進という三つの取組を柱に、農業と商工業、観光業の連携によるブランドストーリーの構築を目指す。

11 福井県越前市 面積 給食・加工 スマート
スマート農業を活用した大規模化！
 データに基づく有機栽培技術の実践や除草作業を中心とした省力化機械(水田除草機)の導入等により、地域全体で有機農業に取り組みや体制を整備し、大幅な面積拡大を目指す。

13 大阪府堺市 スマート
地域資源を活用した都市農業の挑戦！
 地域資源である市内畜産農家の牛糞堆肥を地域内で活用促進することで、化学肥料を減らし、環境負荷を軽減した農業への転換を促進させ、堺産農産物「堺のめぐみ」などブランド力強化等に取り組む。

15 兵庫県豊岡市 面積 給食・加工
コウノトリ育む農法・無農薬の拡大！
 コウノトリも住める自然環境を創るため、農業や化学肥料に頼らない「コウノトリ育む農法・無農薬」を拡げる。学校給食のお米を全量無農薬タイプにし、子どもたちに自然と食の大切さを届ける。

2 山形県川西町 給食・加工
有機農業に参入しやすい環境づくり！
 有機JAS審査員や丸太太畝栽培のウネ作り屋さんなど、地域に波及する人材の育成に取り組み、有機農業の普及推進の起点とする。

4 栃木県大田原市 給食・加工
消費者に対する普及啓発を軸とした取組！
 消費者等幅広い層を対象とした研修会やマルシェの開催のほか、市内小中学校における学校給食への有機米導入などに取り組む。

6 千葉県いすみ市 スマート
有機米産地のさらなる飛躍！
 学校給食米の全量有機化により有機米の産地化を実現しているところ、さらなる規模拡大に向け高効率水田用除草機等の導入や圃場均平化整備による省力化、有機野菜栽培の講習会などを実施。

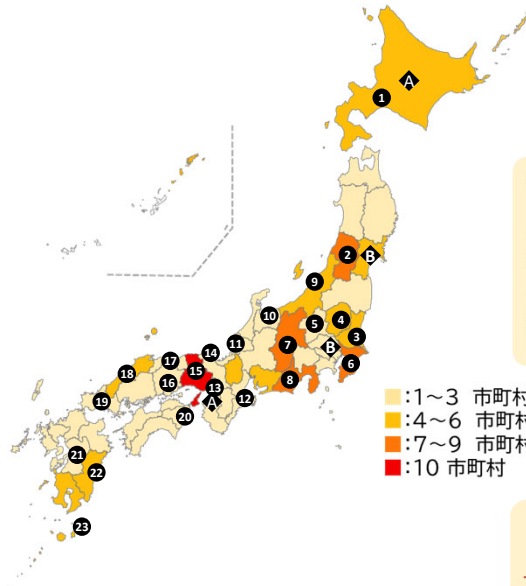
8 静岡県掛川市 面積 給食・加工
有機茶の輸出で海外マーケットへ！
 有機JAS認証取得の支援や、茶商社と連携しての輸出体制の整備を進め、海外で需要が高まるオーガニック茶の輸出を見据えた取組を展開。

10 富山県富山市 面積 給食・加工 スマート
付加価値の高い有機加工品の開発！
 地域特産物のエゴマの有機栽培への転換や有機エゴマ油の開発、アイガモロボット導入による生産拡大、有機日本酒の製造等に取り組む。

12 三重県尾鷲市 給食・加工 スマート 人材育成
有機果樹の生産拡大に取り組む！
 地域特産の甘夏や地域で生産されていない新たな果樹について、収量や品質の向上に向けた栽培技術を開発し、農業者の所得向上につなげるとともに、学校給食での利用や有機農業サミットの開催等を通じて地域一体となった取組を展開。

14 京都府京丹後市 面積 給食・加工
教育機関との連携による取組！
 市内の高校と連携し、有機米の栽培実証を行うとともに、市内の小中学校における学校給食への有機米の提供拡大や児童・生徒と有機米生産者との交流給食の実施などに取り組む。

16 岡山県新庄村 給食・加工 人材育成
有機農業を軸とした地域活性化！
 有機農業の振興により村内の農地の利活用、産業活性化、人口減少対策を目指す。



17 鳥取県日南町 面積 給食・加工 スマート
0haから有機農業の産地化に挑戦！
 中山間地域のモデルとなる持続可能な産地形成を目指す、農機メーカーと連携したスマート農機(水田除草機等)の導入や販路拡大による農業所得の向上を目指す。

18 島根県浜田市 スマート 給食・加工
農家や企業、大学等と幅広く協力関係を構築！
 先進的な有機農業者や民間企業、大学と協力関係を構築し、連携して自動抑草ロボットの活用や有機コンシジョンの作業の機械化による省力化、粗穀燻炭や有機質堆肥を活用した地域循環型農業の実現に取り組む。

20 徳島県小松島市 面積 給食・加工 人材育成
有機農業が実践しやすい地域づくり！
 次世代有機農業技術者育成研修を行う有機農業サポートセンターにおける有機栽培への転換や新規就農に取り組む農業者への技術面でのサポートに加えて、学校給食の利用による販路確保や有機米のブランド化による付加価値向上に取り組む。

22 宮崎県綾町 給食・加工 スマート 人材育成
有機農業を学べる学校を開校！
 栽培技術から経営まで学べる「綾オーガニックスクール」を創設し新規就農者の受入体制を整備するとともに、省力化機械の導入や学校給食における有機米・有機野菜のさらなる消費拡大に取り組む。

4 北海道旭川市 × 大阪府泉大津市 給食・加工 消費地連携
全国初！「生産地×消費地」の連携による取組拡大！
 旭川産有機米を泉大津市の学校給食に提供するほか、両市において市民向けのイベント等を行い、旭川産有機農産物の消費及び認知度向上を図る。また、泉大津市の親子が「こども特派員」として旭川市を訪問し、有機農業体験や農業者へ取材するなど、「農」を通じた地域交流に取り組む。

宮城県大崎市(2024~) × 東京都台東区(2025~) 給食・加工 スマート 消費地連携
世界農業遺産「大崎耕土」で有機農業！環境配慮と省力化の両立と消費地連携！
 世界農業遺産「大崎耕土」の豊かな自然環境を維持しながら、将来にわたって持続可能な農業を地域に定着させるため、アイガモロボットや水管理システムを活用した水稲の栽培方法を確立。環境にやさしい栽培技術と省力化に資する技術実証等を行うほか、台東区の学校給食への有機農産物の提供に取り組む。

19 山口県長門市 給食・加工
有機ブロッコリーの生産・消費拡大！
 周年を通じた育苗体制の整備や3シーズン(夏期・秋期・冬期)に対応した品種や管理技術の確立を進めることで面積拡大を図るとともに、学校給食での利用に向けた献立開発、食育などに取り組む。

21 熊本県山都町 給食・加工 人材育成
誰もが有機農業に取り組める体制へ！
 山都町有機農業サポートセンターを設置し、技術指導から有機JASの取得、販路確保まで有機農業を総合的に支援を行う体制を整備し、新たな人材育成に取り組む。

23 鹿児島県南種子町 給食・加工 スマート
生産の効率化による有機農業の拡大！
 遊休農地を活用した有機農業の拡大、スマート農機の導入による生産の効率化、学校給食における有機米や有機野菜の利用拡大に取り組む。

面積 : 10 ha以上の面積拡大が目標 スマート : スマート農機の利用や省力化機械の導入 給食・加工 : 有機農産物の給食・加工品の商品開発・販売 人材育成 : 学べる環境を整備

消費地連携 : 産地と消費地が連携

～創意工夫により、地域振興に有機農業を導入～

オーガニックビレッジ に取り組むトップランナー

※掲載の希望があった市町村を掲載しております。(令和7年8月時点)



北海道安平町
及川 修一郎 町長

環境にやさしいまちづくりの一環として、有機農業の推進に取り組む方々の活動を支援します。



北海道旭川市
今津 寛介 市長

遠隔地の連携による取組は全国初。生産地の旭川市と消費地の泉大津市で連携し有機農業拡大を目指します。



北海道赤井川村
馬場 希 村長

カルデラの里で育った有機野菜で村の農業の発展と活性化を目指します！



青森県黒石市
高樋 憲 市長

「有機の郷ろいし」を目指し、誰もが有機農業に取り組むことができる環境づくりを推進します。



青森県五戸町
若宮 佳一 町長

地域内の資源を循環利用し、環境にやさしい農畜産業の確立に取り組んでいます。



岩手県花巻市
上田 東一 市長

先人から受け継いできた豊かな自然を未来に守り繋いでいくため、有機農業の推進に取り組んでいます。



岩手県遠野市
多田 一彦 市長

遠野の豊かな地域資源を活かした農業の推進を目指し、元気とやる気のある農業者を支援します。



岩手県一関市
佐藤 善仁 市長

豊かな自然を活かし、地域ぐるみで有機農業の生産から消費まで一貫して取り組み、持続的発展を目指します。



宮城県登米市
熊谷 康信 市長

環境保全型農業を更にステップアップさせ、生産力の向上と持続性が両立した農業の発展を目指します。



宮城県栗原市
佐藤 智 市長

次世代に豊かな自然・食・農を引き継ぐため、環境に配慮した有機農業をさらに推進します。



宮城県大崎市
伊藤 康志 市長

世界農業遺産「大崎耕土」で生物多様性を保全しながら、有機農業や環境保全型農業を推進しています。



宮城県加美町
石山 敬貴 町長

清流に恵まれた「世界農業遺産 大崎耕土」の農産物の地産・自然との調和を図り、有機農業を推進します。



秋田県大潟村
高橋 浩人 村長

自然環境を生かした消費者との交流など、有機農産物の認知度の向上と需要拡大に取り組んでいます。



山形県山形市
佐藤 孝弘 市長

有機農業の産地づくりを進めるとともに、子供たちへの食育及び有機農産物の消費拡大に取り組んでいます。



山形県米沢市
近藤 洋介 市長

生産加工・消費流通に係る団体や学術機関が一体となり、有機農業の拡大を推進します。



山形県鶴岡市
皆川 治 市長

有機農業やJA、流通事業者などの関係者が一丸となり、有機農業の拡大に取り組んでいます。



山形県酒田市
矢口 明子 市長

若い力も大いに活用し、地域で一丸となって環境にやさしい有機農業を推進していきます。



山形県新庄市
山科 朝則 市長

有機農業等の環境保全型農業の取り組みを行い、持続可能な農業の推進に取り組んでいます。



山形県高島町
高梨 忠博 町長

有機農業に取り組んで50年。新たな時代に再生し、地域の活性化をもたらすよう、力を入れています。



山形県川西町
茂木 晶 町長

環境負荷の低減のみならず、新たな加工開発等を通して農業者の所得向上及び産業振興にも繋がっていきます。



福島県喜多方市
遠藤 忠一 市長

みんなで力を合わせ、有機農業の復興・創生を着実に進め、カーボンニュートラルの実現を目指します。



福島県二本松市
三保 恵一 市長

有機農業を志す新規就農者の受け皿づくりを推進し、市の持続可能な農業を確立します。



茨城県常陸大宮市
鈴木 定幸 市長

「子供達に最高の給食を届けたい！」この思いからオーガニック給食実現に向けた有機農業を推進します。



栃木県小山市
浅野 正富 市長

「田園環境都市おやま」の実現に向けて、コウノトリと共生できる農業に取り組んでいます。



群馬県甘楽町
森平 仁志 町長

未来を担う子どもたちへの食育をはじめ、日々の暮らしに溶け込む有機農業を推進し、次代へ継承します。



埼玉県所沢市
小野塚 勝俊 市長

有機農業をはじめとする環境再生型（リジェネラティブ）農業を推進し、魅力にあふれる産地を目指します。



千葉県成田市
小泉 一成 市長

地域の特性を活かした有機農業などの持続可能な環境にやさしい農業を推進してまいります。



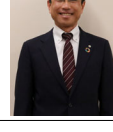
千葉県いすみ市
太田 洋 市長

生物多様性を地域の資本と捉え、環境と経済の両立を目指して、有機農業の拡大に取り組んでいます。



神奈川県相模原市
本村 賢太郎 市長

農業者や関係事業者、地域が一体となって取り組む有機農業の仕組みづくりを目指し取組を進めてまいります。



長野県飯田市
佐藤 健 市長

有機農業をはじめとする環境に配慮した農業を地域全体で力を合わせ、熱意を持って進めています。



茨城県石岡市
谷島 洋司 市長

有機農業の先進地として、市内有機農業者やJAなどと連携し、更なる有機農業の拡大に取り組んでいます。



茨城県かすみがうら市
宮嶋 謙 市長

有機農業を促進し、持続可能な農業の発展を図るとともに、環境と調和した未来に繋がる農業を目指します。



栃木県市貝町
入野 正明 町長

サンパが舞う里地山で有機農業を推進し、環境と経済が循環するまちづくりを進めます。



群馬県高山村
後藤 幸三 村長

村の豊かな自然環境を次世代へつなげるため、村全体で有機農業の推進や認知度向上に取り組んでいます。



埼玉県小川町
島田 康弘 町長

有機農業実施計画の実現に向けた取組を基軸に、有機農業のさらなる拡大を推進します。



千葉県佐倉市
西田 三十五 市長

有機農業者等のグループ化を通じて、有機農業に参入しやすい環境づくりや多様な販路の確保に取り組んでいます。



千葉県神崎町
椿 等 町長

子どもたちの未来のため、有機農業の推進と食育に取り組んでまいります。



神奈川県小田原市
加藤 憲一 市長

有機農業者だけでなく、関係事業者や消費者との交流を深め、地域ぐるみで有機農業の拡大に取り組んでいます。



長野県伊那市
白鳥 孝 市長

中山間地域のブランド力向上のため、有機農業を拡大し、「伊那オーガニックバレー」の確立を目指します。



茨城県笠間市
山口 伸樹 市長

オーガニックの推進＝環境保全＝農産物の高付加価値化＝農業所得の向上



栃木県栃木市
大川 秀子 市長

コウノトリが舞う魅力的な地域を目指して、暮らしと自然環境が調和した農業を推進してまいります。



栃木県塩谷町
見形 和久 町長

生態系の保全と経済活動を両立し、持続可能な豊かな町の創出に取り組んでいます。



群馬県みなかみ町
阿部 賢一 町長

環境負荷低減の農業を通じて、豊かな自然と共生するまちづくりを推進しています。



千葉県木更津市
渡辺 芳邦 市長

学校給食100%オーガニック化を基軸に、環境保全型農業（有機農業）を推進します。



千葉県匝瑳市
宮内 康幸 市長

有機農業やソーラーシェアリングにより、地域の力を活かした匠モデルでの持続可能な農業を実現します。



千葉県多古町
平山 富子 町長

持続可能な農業として、有機農業の拡大を目指し、魅力ある産地づくり、次世代につなぐ農業を推進します。



山梨県北杜市
大柴 邦彦 市長

自然環境にやさしい有機農業の拡大を目指し、生産技術の向上、販路拡大、食育など幅広い取組を推進します。



長野県佐久市
柳田 清二 市長

ベレット堆肥などの地域資源を活用し、地域一丸となったオーガニックビレッジを目指します。

長野県長野市
たけし 武居 保男 町長

有機農業及び環境にやさしい農業の生産者確保、栽培促進に尽力し町が一体となり有機農業推進に取組みます。

長野県松川町
きたむら 北沢 秀公 町長

子供たちの健やかな成長と遊休農地の解消に向けて、有機農業の取組を加速します。

長野県飯綱町
あひら 飯村 勝盛 町長

学校給食を軸に生産・流通・販売モデルを確立し、農業者が参入しやすい有機農業地づくりを目指します。

静岡県静岡市
なんば たかし 難波 喬司 市長

静岡市は生産、加工・流通、資源の各分野が連携し、環境負荷低減と生産性向上を両立させた有機農業を推進します。

静岡県富士宮市
すどう ひでたか 須藤 秀忠 市長

環境に配慮した持続可能な農業として、有機農業の推進を目指し、地域内外に食と農の魅力を発信します。

静岡県掛川市
くぼ たかし 久保田 崇 市長

主要作物である茶を中心に、有機農業を拡大し、地域の景観・環境保全を推進します。

静岡県藤枝市
きたむら 北村 正平 市長

学校給食への有機食材の提供を通じ、子供達に地域農業や環境の大切さを伝える有機農業を展開します。

静岡県伊豆の国市
やました まさゆき 山下 正行 市長

有機農業の展開に農業者、消費者が一体となって取り組み、環境に配慮した持続可能な食料生産を目指します。

静岡県川根町
そのだ やすくに 園田 靖邦 町長

特産品の高品質煎茶に加え、有機農業を農業者の選択の一つとして提示し、持続可能な農業を推進します。

新潟県新発田市
にかいどう かおる 二階堂 馨 市長

有機米の産地形成を進め、高付加価値化による農家所得の向上と持続可能な農業の実現を図ります。

新潟県五泉市
たなべ まさゆき 田邊 正幸 市長

環境負荷軽減の取組や食育を通じた次世代の育成、高付加価値化による持続可能な農業の確立を図ります。

新潟県阿賀野市
かたう ひろゆき 加藤 博幸 市長

誰もが有機農業に取り組める地域づくりを進め、農業振興・自然の共生・子育て環境の向上につなげます。

新潟県佐渡市
わたなべ りゅうご 渡辺 竜五 市長

ヒトと自然との共生を意識し、有機農業による島内の経済循環の仕組みづくりを進めます。

新潟県津南町
くわばた はるか 桑原 悠 町長

人や環境にやさしい魅力あるまちづくりと持続可能な農業を目指し、有機農業で新たなつながりをつくり出します。

富山県富山市
ふくい ひろゆき 藤井 裕久 市長

地域と一体となり有機農業に取り組みやすい環境を整え、自然と調和した持続可能な農業の実現を目指します。

富山県南砺市
たなか けんた 田中 幹夫 市長

地域、人、ネットワーク、機運・仕組みづくりの4本柱の好循環を図り、持続可能な農業を展開していきます。

石川県珠洲市
いずみや ますひろ 泉谷 満寿裕 市長

環境にやさしい有機農業を推進し、トキ放鳥の実現と自然と共生する持続可能なまちづくりを目指します。

石川県羽咋市
ふじの ひとし 岸 博一 市長

トキが再び舞う里山を目指し、自然栽培農業を中心とした有機農業地づくりを推進します。

石川県白山市
たむら としゆき 田村 敏和 市長

県下最大の農地面積を有する本市において、学校給食への有機農産物の提供を軸に持続的に環境に配慮した有機農業を推進します。

福井県越前市
やまだ けんいち 山田 賢一 市長

コウノトリが呼ぶ農法とスマート技術を駆使し、規模感のある有機農業の推進と産地化を目指します。

岐阜県飛騨市
つづ じゅんや 都竹 淳也 市長

有機農業と慣行農業が共存する多様性の中、各機関と連携し環境負荷を低減した農業を推進していきます。

岐阜県白川町
さきさ まさたか 佐伯 正貴 町長

有機農業の流通方法の見直し、加工品の開発など、有機農業の販路拡大に取り組みます。

愛知県岡崎市
うちだ 康宏 内田 康宏 市長

家康公誕生の地として江戸のまちのシステムを活かした有機農業地づくりを目指し、産地地消を推進します。

愛知県大府市
おかむら ひでと 岡村 秀人 市長

「おおぶニック」の愛称で、地域の人財と資源を活用した官民連携での有機農業の取組を加速します。

愛知県東郷町
いしばし なおき 石橋 直季 町長

地元有機農産物の産地地消を推進し、子どもたちが「未来を想像できるまち」へ。

愛知県南知多町
いしくろ かずひこ 石黒 和彦 町長

持続的に環境負荷の低い農業として有機農業を推進するため、有機農業者を育成していきます。

愛知県美浜町
やつや あつひろ 八谷 充則 町長

魅力ある農産物づくりを目指す農業者と共に継続して営農活動ができる経営環境の整備を目指します。

愛知県豊田町
とば ひさし 鳥羽 悠史 町長

野菜、米、畜産、そして伝統的な醸造文化を思いつく本町ならではの豊かさを守り育てていきます。

三重県伊賀市
いなり としなむ 稲森 稔高 市長

つながれ！ひろがれ！「オーガニックビレッジ」伊賀市 みんなで有機農業をがんばろう！

滋賀県日野町
ほりえ かずひろ 堀江 和博 町長

安心安全な農産物の生産・消費を通して、有機農業への関心を高め有機農業の産地づくりに取り組みます。

大阪府堺市
ながふじ ひでき 永藤 英機 市長

市内で生産された牛・鶏・豚の活用を促進し、地域資源を活用した持続可能な都市農業の振興をめざします。

兵庫県丹波篠山市
おおばやし けんいち 酒井 隆明 市長

農都宣言のまち丹波篠山で有機農業を広め、世界に誇れる環境創造型農業推進のまち・持続可能な農村を目指します。

兵庫県朝来市
ふじの いさむ 藤岡 勇 市長

有機農産物の生産から消費までの循環体制が確立できるよう、更に持続可能な有機農業の推進に取り組みます。

兵庫県上郡町
なめだ しゅうきく 梅田 修作 町長

「子どもと自然環境をより大切にすまち」の実現に向けて、有機農業の推進と食育との連携を進めます。

奈良県添村
のの けんた 野村 栄作 村長

環境にやさしく、付加価値があり、持続可能な生産性のある有機農業を広め、村の活性化につなげます。

島根県江津市
なかむら あたろ 中村 中 市長

子どもたちの未来のために豊かな自然環境と安全安心な食の確保を目指す、有機農業を推進していきます。

三重県名張市
きたがわ ひろゆき 北川 裕之 市長

地元有機農産物を使った「食」が楽しめるまちを目指し、有機農業などの環境にやさしい農業を推進します。

滋賀県近江八幡市
こにし おさむ 小西 理 市長

農業が魅力的な生産となり、人々のライフスタイルにオーガニックが溶け込んだまちをめざします。

京都府亀岡市
かつらがわ たかひろ 桂川 孝裕 市長

「世界に誇れる環境先進都市」を目指し、有機農業を中心に農業分野の環境負荷低減を図ります。

大阪府泉大津市
みなみで けんいち 南出 賢一 市長

全国初の事例として生産地と消費地を繋ぐ「オーガニック・ブリッジ」を構築し、有機農業の発展を目指します。

兵庫県養父市
さかい けんいち 大林 賢一 市長

地域のブランド牛である「但馬牛」と連携した資源循環型農業により有機農業の拡大を進めます。

兵庫県淡路市
たけふら あつひろ 戸田 敦大 市長

有機農業に対する理解を深め、地域連携のもと、豊かな自然と伝統、調和のとれた農業を次世代に繋げていきます。

奈良県天理市
なみかわ けん 並河 健 市長

放棄地は、農業等が抜けた有機栽培の適地と見做され、中山間地域の循環型農業モデルを創ります。

和歌山県かつらぎ町
なかさか まさひろ 中阪 雅則 町長

有機農業の拡大、後継者の育成を進め、かつらぎ町の有機農業を支援します。

島根県浜田市
くぼ たし 久保田 章市 市長

豊かな海、里山を未来の子どもたちへ繋ぐため、持続可能なオーガニック・ビレッジを作ります。

三重県尾鷲市
おしか 千速 市長

環境に配慮した有機農業を取り入れ、高付加価値化による農業者の所得向上につなげていきます。

滋賀県甲賀市
いしなが ひさき 若永 裕貴 市長

持続可能な茶の産地として知名度アップを目指し、オーガニック茶の生産拡大に取り組みます。

京都府京丹後市
なかやま やすし 中山 泰 市長

人と生き物、地球にやさしい持続可能な農業とふるさととの美しくて豊かな自然環境を未来へ繋いでいきます。

兵庫県豊岡市
かどま たけし 門間 雄司 市長

「コウノトリ育む農法」を推進し、学校給食用米の無農薬米への全量転換を目指しています。

兵庫県丹波市
はやし ときこ 林 時彦 市長

古くから歴史ある丹波市の有機農業を、持続可能な産業として未来に繋いでいくまちづくりを目指します。

兵庫県加東市
たかし 岩根 正 市長

次世代を担う子どもたちに誇れる有機農業に、勇気（有機）を振り絞り総力をあけて取り組みます。

奈良県宇陀市
こんごう かずとし 金剛 一智 市長

大和高原の恵まれた気候を活かした有機農産物の生産と新たな鮮度保持や規格外品の活用に取り組みます。

鳥取県日南町
おむら ひであき 中村 英明 町長

中山間地域における有機農業のモデルとなるSDGs・持続可能な産地形成を目指します。

島根県大田市
やの ひろかず 楳野 弘和 市長

有機米のブランド化や企業との連携など、持続可能な有機産地の育成に向けた取組を行います。

島根県邑南町
大屋 光宏 町長

農業者を始め、地域内外の消費者を巻き込んで、有機農業の取組を加速化します。

島根県吉賀町
岩本 一巳 町長

有機農業の生産、流通、消費の強化を行うことで、活力ある地域づくりを目指します。

岡山県和気町
太田 啓輔 町長

環境に配慮した農業の普及を目指すとともに、高付加価値の作物を生産し、稼げる農業の仕組みを構築します。

岡山県新庄村
小倉 博俊 村長

「小さくても強い村」を未来につなげていくため、地域資源を活かした有機農業の取組を後押しします。

広島県神石高原町
入江 嘉則 町長

豊かな自然と、情熱あふれる農家が栽培する神石高原町の有機農産物を、全国にPR・発信していきます。

山口県長門市
江原 達也 市長

企業との提携協定により、農業の活性化をとおした経済や地域社会の発展を目指します。

徳島県小松島市
中山 俊雄 市長

平成22年から培ってきた生物多様性農業の経験を活かして、自然豊かな小松島の農業拡大に取り組めます。

徳島県海陽町
三浦 茂貴 町長

儲かる農業を目指します。

香川県三豊市
山下 昭史 市長

農業経営の選択肢の一つとして有機農業を選べる環境づくりを支援していきます。

愛媛県今治市
徳永 繁樹 市長

伝統と地域特性を活かした、オンリーワンの新たな有機農業振興策を展開してまいります。

高知県馬路村
山崎 出 村長

有機農業面積率日本一の村として、地域ぐるみで継続して取り組み、安全でおいしい商品づくりを続けます。

福岡県うきは市
権藤 英樹 市長

農業負担の軽減と環境に配慮した農業の両立を実現します。

佐賀県上峰町
武廣 勇平 町長

未来の農業、未来の子どもたちのため、安全で持続可能な農業生産の普及拡大を目指してまいります。

佐賀県みやき町
岡 毅 町長

未来の農業、未来の子どもたちのため、安全で持続可能な農業生産の普及拡大を目指してまいります。

長崎県五島市
出口 太 市長

「かっこよくて儲かる農業」を目指し、五島産ブランドの知名度向上を図ります。

長崎県南島原市
松本 政博 市長

南島原の肥沃な大地を活かしたオーガニック農業の普及、推進に取り組んでいます。

長崎県雲仙市
金澤 秀三郎 市長

本市における自然と調和した農業は、様々な方々の共感を呼んでおり、今後も更に発展させてまいります。

熊本県菊池市
江頭 実 市長

自然と共生する有機農業を推進し、高付加価値化を図ると共に、持続可能な農業の確立を目指します。

熊本県南阿蘇村
太田 吉浩 村長

高冷地の特色を活かした有機農業の展開により環境に優しい農業の拡大に取り組めます。

熊本県山都町
坂本 靖也 町長

有機JAS認証数が全国最多を誇る「全国No.1のまち」として、有機の魅力を伝えていきます。

大分県佐伯市
富高 国子 市長

さいきオーガニック憲章の理念を胸に、いのち輝く持続可能な未来を市民と共に創造します。

大分県臼杵市
西岡 隆 市長

独自認証「ほんまもん農産物」の推進などにより、「有機の里づくり」に取り組めます。

大分県豊後高田市
佐々木 敏夫 市長

有機農業推進の取り組みを通して、持続可能な魅力あるまちづくりを目指します。

宮崎県宮崎市
清山 知憲 市長

農業者・学生・関係機関・行政が協力し、宮崎市全体で、環境に配慮した農業を推進します。

宮崎県えびの市
村岡 隆明 市長

自然豊かなえびの市で有機農業の推進に取り組む方々の活動を支援します。

宮崎県綾町
松本 俊二 町長

自然豊かな農業を推進し、環境に配慮した生産に取り組む農業者の育成や有機給食の実施などに取り組めます。

宮崎県高鍋町
黒木 敏之 町長

全国初の2町連携（木城町）での取組を軸に、持続可能な食と農の未来を次世代に繋いでいきます。

宮崎県木城町
半渡 英俊 町長

高鍋町との連携（全国初）を軸に、オーガニックタウンとしての木城町のこだわりの魅力を発信し続けます。

鹿児島県南さつま市
本坊 輝雄 市長

有機農業の担い手育成や次代を支える子供たちへの有機農業への理解醸成に取り組めます。

鹿児島県始良市
湯元 敏浩 市長

有機野菜を中心に環境にやさしい農業生産と消費の拡大に取り組めます。

鹿児島県湧水町
池上 滝一 町長

有機農産物の安定供給と生産面積の拡大を図り、特色ある有機農業を継続して取り組み、安心・安全な食の提供を進めてまいります。

鹿児島県南種子町
小園 裕康 町長

地域の有機資源を活用したオーガニックな町づくりに取り組めます。

鹿児島県徳之島町
高岡 秀規 町長

有機ばれいしょの生産拡大を始め、島内住人の理解醸成などに取り組めます。

有機農業関連予算

1. みどりの食料システム戦略推進総合対策

【令和7年度概算決定額 612(650)百万円の内訳】
【令和6年度補正予算額 3,828 百万円の内訳】

有機農業の推進拠点を創出するとともに、関係者の行動変容と相互連携を促す環境づくりを支援

(1)有機農業拠点創出・拡大加速化事業

地域ぐるみの有機農業の取組を推進するため、みどりの食料システム法に基づく特定区域の設定等に向けて取り組む地域に対し、生産から消費まで一貫して有機農業を推進する取組の試行や体制づくり、産地と消費地が連携した消費拡大の取組等への支援により、有機農業の推進拠点となる地域（オーガニックビレッジ）を創出します。あわせて、有機農業の拡大を加速化するため、有機農業を広く県域で指導できる環境整備に向けた取組を支援します。

①有機農業推進拠点（オーガニックビレッジ）の創出

有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者・事業者・地域内外の住民を巻きこんで推進する取組の試行や体制づくりを推進します

○ 事業要件 有機農業産地の実現に向けた取組を実践するための有機農業実施計画を策定すること

○ 実施主体

市町村、又は市町村を構成員に含む協議会

（複数の市町村が参画する協議会が事業を実施する場合、有機農業実施計画の策定を行う市町村を特定すること）

市町村	農業者・団体	都道府県
商工団体	経済団体	農業協同組合
民間企業	NPO	教育機関
地域住民団体	各種団体	その他

○ 事業の取組イメージ

検討会の開催	試行的取組の実施
✓ 農業者、事業者、地域内外の消費者、専門家等からの意見の聴取 ✓ 地域の状況に関する調査 ✓ 専門家による指導 ✓ 先進地区の視察 ✓ 特定区域の範囲・内容検討	✓ 生産、加工、流通及び消費の各段階における試行的な取組等を実施

有機農業実施計画 策定・周知

事業開始年度の翌年度の4月までに都道府県に提出

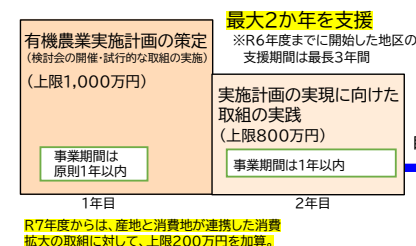
オーガニックビレッジ宣言

・実施計画に基づく取組の実施
暫定段階の取組
推進体制づくり
（検討会の開催、取組の実績、調査等）
・みどりに法に基づく特定区域の設定

実施計画に基づく取組の定着

有機農業の取組拡大・計画の実現

○ 補助率 定額 ※機械リースのみ補助率1/2以内



②有機農業の拡大加速化の推進

有機農業の拡大を加速化するため有機農業を広く県域で指導できる環境整備に向けた取組を支援。

広域協議会による
・経営指標の作成
・栽培技術の整理

「経営・技術指導マニュアル」の作成
・指導計画の策定

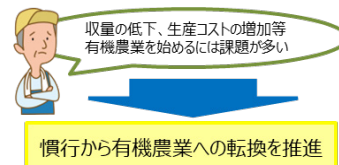
(2) 有機転換推進事業

新たに有機農業への転換等を実施する農業者に対して有機種苗の購入や土づくりなど有機農業の生産を開始するにあたって必要な経費を支援

対象者：新規就農者、慣行栽培から転換に取り組む農業者であり、みどり認定を受けている又は受ける予定である者

対象農地：転換初年度となる農地

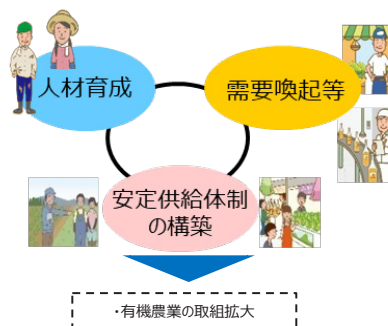
交付単価：10aあたり 20,000円以内



(3) 有機農業推進総合対策事業

有機農業の拡大に向けた現場の取組を推進するため、

- ① 有機農業指導員の育成・確保
- ② 有機農業の栽培技術を指導する民間団体の活動や、農業者の技術習得等による人材育成を一体的に行う取組
- ③ 国産原料を使用した有機加工食品の生産・取扱拡大の取組
- ④ 事業者と連携して行う需要喚起の取組 等を支援



(4) グリーンな栽培体系への転換の加速化

それぞれの産地に適した「環境にやさしい栽培技術」と「省力化に資する先端技術等」を取り入れた「グリーンな栽培体系」への転換を加速化するため、産地に適した技術を検証し、定着を図る取組を支援

取組の一環として行う消費者理解の醸成に対しても支援

- 産地に適した「環境にやさしい栽培技術」、「省力化に資する先端技術等」の検証

化学農薬低減

有機農業

省力化

化学肥料低減

温室効果ガス削減

+

- グリーンな栽培マニュアル、産地戦略（ロードマップ）の策定

2. 環境保全型農業直接支払交付金

【令和7年度概算決定額 2,804(2,641)百万円】

農業生産に由来する環境負荷を軽減するとともに、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動を支援

環境保全型農業
直接支払交付金HP ↓



【有機農業の交付単価】 国際水準の有機農業を実施していることが要件となります。
※有機JAS認証取得を求めるものではありません。

- そば等の雑穀・飼料作物以外：**14,000円/10a**

炭素貯留効果の高い有機農業を実施する場合※に限り、2,000円を加算。

※土壌診断を実施するとともに、堆肥の施用、緑肥の施用、炭の投入のいずれかを実施していただきます。

- そば等の雑穀・飼料作物：**3,000円/10a**

【取組拡大加算】

※活動によって増加した新規取組面積に応じた支援になります。

有機農業の新規取組者の受入れ・定着に向けた活動を行う農業者団体を支援
<交付単価> 4,000円/10a



本制度は予算の範囲内で交付金を交付する仕組みです。申請額の全国合計が予算額を上回った場合、交付金が減額されることがあります。

発行：農林水産省 農産局 農産政策部 農業環境対策課

住所：〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

電話：03-3502-8111（代表） 03-6744-2114（直通）

HP：<http://www.maff.go.jp>（農林水産省HP）